

研修生の聴講受入結果

開講期	科目名	授業担当教員	受入可否	受入上限人数	正規履修者がいない場合	上限を超えた場合の選抜方法	聴講生への特別の指示
前期	刑事法理論の展開	三島 聡 川崎 英明	可能	5名まで	受入不可	単位未修得者優先 (上限人数を超える場合は先着順)	正規の履修者同様、全授業回出席が求められる
前期	経済法 1	淵川 和彦	可能	3名程度まで	受入不可	単位未修得者優先 (上限人数を超える場合は先着順)	原則として、全授業回に出席しなければならない
前期	経済法 2	淵川 和彦	可能	3名まで	受入不可	単位未修得者優先 (上限人数を超える場合は先着順)	原則として、全授業回に出席しなければならない
前期	公法理論の展開	渡邊 賢	可能	5名まで	受入可能	先着順	原則として全回出席しなければならない
前期	国際家族法	国友 明彦	可能	5名まで	受入不可	単位未修得者優先 (上限人数を超える場合は先着順)	なし
前期	国際民事手続法	国友 明彦	可能	5名まで	受入不可	単位未修得者優先 (上限人数を超える場合は先着順)	なし
前期	商法理論の展開	小柿 徳武	可能	10名まで	受入可能	先着順	なし
前期	知的財産法 A	永田 貴久	可能	なし	受入不可	—	履修生と同様に予習および復習の義務があり、講義中課された課題(レポート提出)に応じる義務がある
前期	知的財産法 B	永田 貴久	可能	なし	受入不可	—	履修生と同様に予習および復習の義務があり、講義中課された課題(レポート提出)に応じる義務がある
前期	倒産法 1	溝渕 雅男	可能	なし	受入可能	—	意欲的に学習する姿勢を持つこと
前期	倒産法 2	溝渕 雅男	可能	なし	受入可能	—	意欲的に学習する姿勢を持つこと
前期	民法理論の展開 A	森山 浩江	可能	5名程度まで (ただし、正規の履	受入不可	単位未修得者優先	原則として、全授業回に出席しなければならない
前期	労働法 A	塩見 卓也	可能	なし	受入不可	—	自分の理解が足りないと思う講義回のみ参加も可
前期	労働法 B	塩見 卓也	可能	なし	受入不可	—	自分の理解が足りないと思う講義回のみ参加も可